



北勢バイパス開通

(市道日永八郷線～国道477号バイパス間)

問 都市計画課 (TEL) 354-8214 (FAX) 354-8404

**3月16日(日) 15時に
開通します!**

今回の開通区間は延長4.1kmで、これまでの開通区間 (8.5km) と合わせて北勢バイパス全体 (21.0km) の約6割が開通することになります。

北勢バイパスの整備で期待していることについて、国がヒアリングした意見をご紹介します。



開通区間の終点・国道477号バイパス (令和7年1月撮影)

■地元企業の声

海外工場で製造された完成自動車を国内販売用に整備する事業を行っています。現在は、工場と四日市港間の経路の選択肢が限られていますが、北勢バイパスの整備により輸送経路の選択肢が増えることで、安定的な物流が維持できると期待できます。

自動車製造・検査企業ヒアリング結果より

■近隣学校の声

小学校の通学路に指定されている細い道路に、主要幹線道路の混雑を避けようとする抜け道利用の通行が多く、混雑しています。北勢バイパスが整備されれば、抜け道利用の通行が減り、こどもたちが安全に通学できるようになると思います。

小学校ヒアリング結果より



■新市誕生20周年!!

平成17年2月7日に四日市市と楠町が合併し、30万人都市として歩み始めてから、今年で20年となりました。

新市誕生20周年の2月7日には、記念式典を文化会館で開催しました。

記念式典では気象予報士の石原良純さんによる「魅力的な街について」と題した講演や、四日市の風景などを募集したフォトコンテストの優秀作品の表彰がありました。さらにフォトコンテストの応募作品は市職員の名刺デザインに活用し、本市の魅力として市内外に発信していきます。

また、2月9日には楠町商工会を中心とし



た実行委員会主催の合併20周年記念花火大会が鈴鹿川派川の河口付近で開催され、私も観覧に行ってきました。

冬の澄んだ空気の中で打ち上げられた花火はとても美しく、夏の花火とは違う良さを感じることができました。20周年の記念にふさわしい行事となったと思います。

